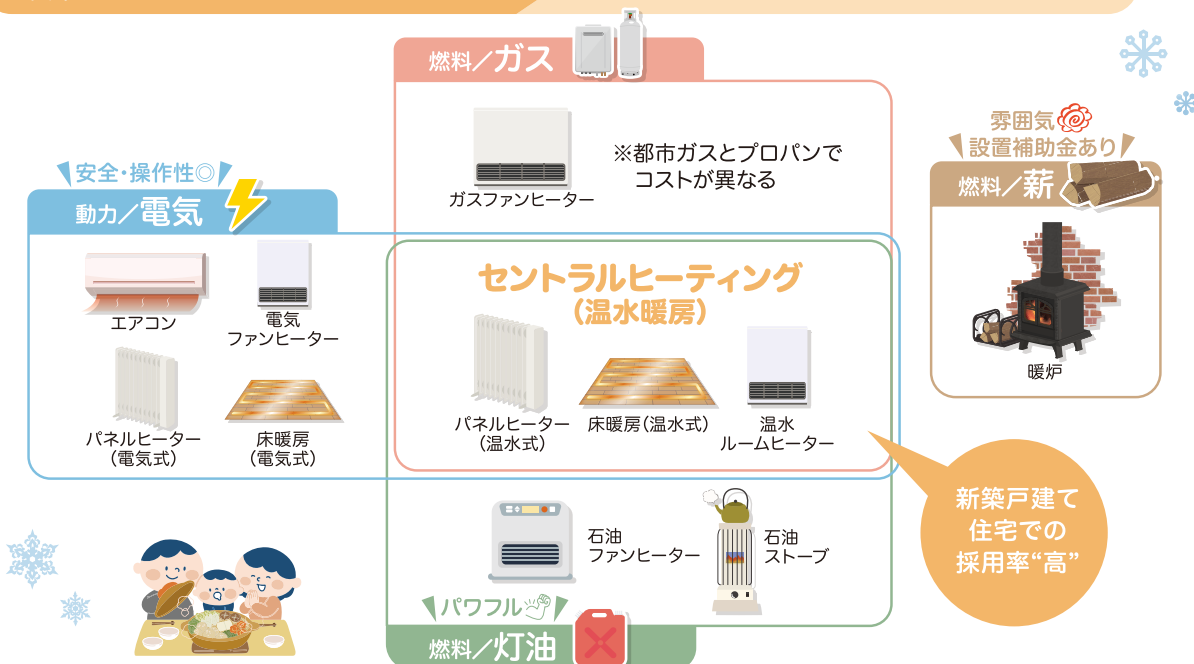


家のつくり

気密性が高く暖房もしっかりしているので、真冬でも家の中は暖かいです。外は厳しい寒さでも、家の中では薄着で過ごせるくらい暖かいのが、北海道の冬の暮らしの特徴です！

●無落雪屋根（フラット）、玄関フード（風除室）、複層ガラス、強力な暖房設備など。

暖房



水道光熱費はどれくらい？

暖房代がかかる分、冬の光熱費は高くなります。

ただし、夏は本州よりも湿度や気温が高い時期が短くエアコン代が抑えられるため、1年を通した水道光熱費は道外とさほど変わらないようです。

1人暮らし

夏 約1.1万円

冬 約2.5万円

3人暮らし

夏 約2.1万円

冬 約4.4万円

参考文献：総務省家計調査家計収支編
（北海道：2025年1～3月期・2025年7～9月期）



市の除雪体制

除雪作業に出るのは、道路に新たに降り積もる雪の量が、バス通りなどの幹線道路は10cm以上、住宅地などの生活道路は15cm以上で、通行に支障が見込まれるとき。市が除雪する道路は**約2,100km**も！
交通量の少ない深夜から明け方にかけて、**400台** 近くの除雪車が一齐に作業して、通勤・通学の時間に車やバスが走りやすいようにしています。

車で旭川から福岡に行ける距離！

車の運転（タイヤ）

スタッドレスタイヤが必須のため、年に2回タイヤ交換が必要になります。

夏タイヤへの交換・・・4月中旬～5月初旬（GW明けまで様子を見る人も）

冬タイヤへの交換・・・9月下旬～10月中旬

冬道が心配な方には、自動車教習所等で行われている雪道講習会に参加することができます。

雪国ならではの必需品

冬を過ごすにあたって、滑りにくい靴やフード付きのダウンコートなどがあるとよいでしょう。（滑った場合に備えて両手はあけたほうがよいのでフード付き。季節の変わり目に降る雨まじりの雪以外で、傘をさす人は少ないです。）

外出や外あそび、除雪に必要なものはこちら

外遊びに必要なもの

つなぎ、手袋、靴、そりなど

除雪が必要な場合

除雪用品・・・スノードンプ（ママさんダンプ）、プラスチックのショベル

車を持っている場合

車用品・・・ワイパー、スタッドレスタイヤ、スノーブラシ（T字のものが効率よく雪を降ろせます）

